北区医師会　第50回地域医療連会委員会

平成28年3月30日

住友病院の感染対策

住友病院感染制御部　林　三千雄

hayashi-michio@sumitomo-hp.or.jp

住友病院　理念

「信頼性の高い医療で社会に貢献」

運営方針

1. 高水準、良質の医療
2. 患者様のQuality of life を重視した診療
3. 快適環境
4. 豊かな国際性

感染管理の Zero Tolerance

「医療関連感染は起きても仕方がないもの」と受身的に捉えることをやめ，0に近づける積極的な姿勢への転換を表す

感染対策の目標（住友病院）

✖ **アウトブレイクを起こさない**

→病院にとってマイナスな事柄の回避

→トラブルを起こさない範囲内で最小限のコスト

→消極的感染対策

⭕ **Zero tolerance**

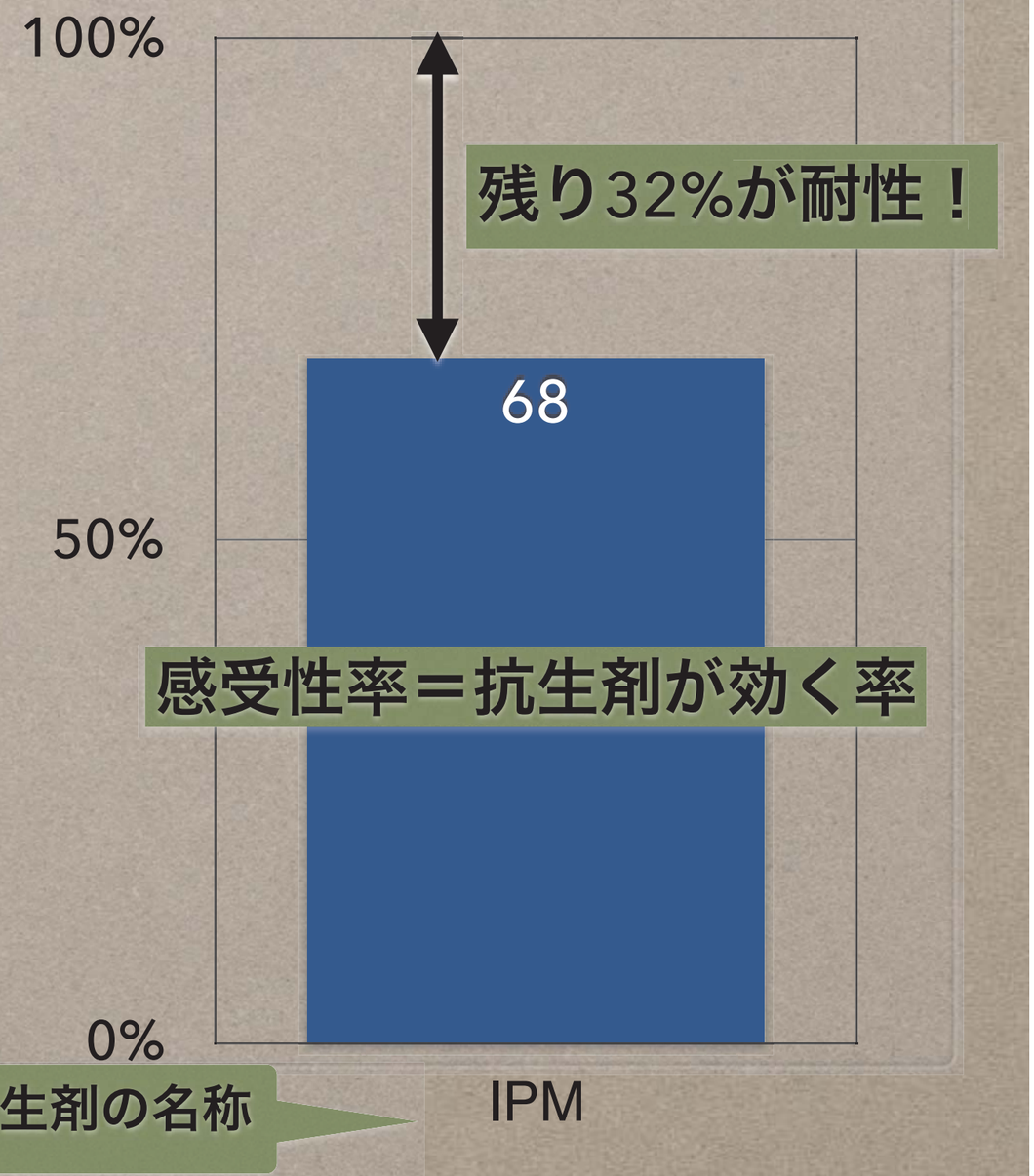
→全国平均より圧倒的に少ない院内感染

→病院にとってプラスな事項の推進

→積極的感染対策

院内感染対策の指標1　緑膿菌感受性

【緑膿菌】
院内感染の代表的な細菌
国内の耐性菌アウトブレイク事例
では緑膿菌と*MRSA*が最も大きな問題この
緑膿菌の抗生剤への耐性が院内感染状況を
知る一つの指標



耐性緑膿菌の拡散を防ぐために

耐性菌を伝搬させない

1. 標準予防策の遵守（特に手指衛生）

2. 医療器具の適切な洗浄、消毒

耐性菌を作らない（選択をしない）

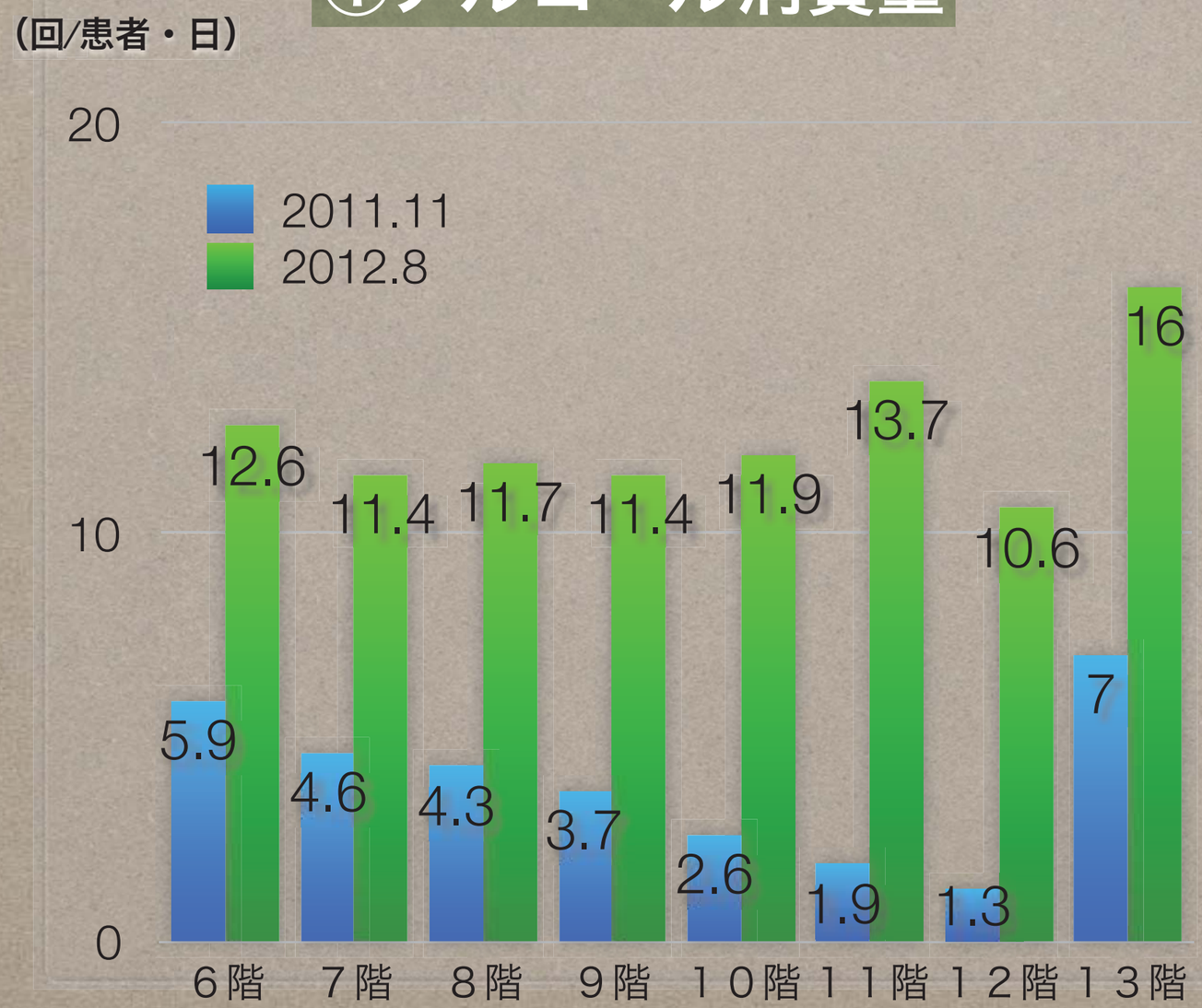
3. 抗菌薬の適正使用

（正確な診断とエビデンスに基づいた治療）

2011年10月　住友病院　院内感染対策講習会スライド

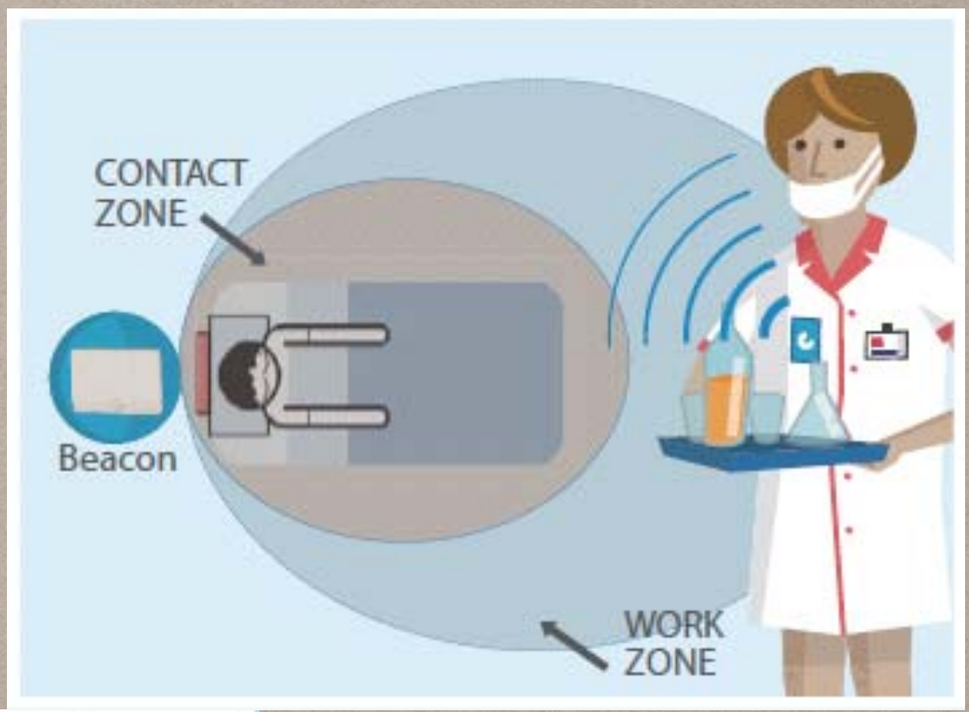
感染対策強化の一例：手指衛生

①アルコール消費量



②直接観察法

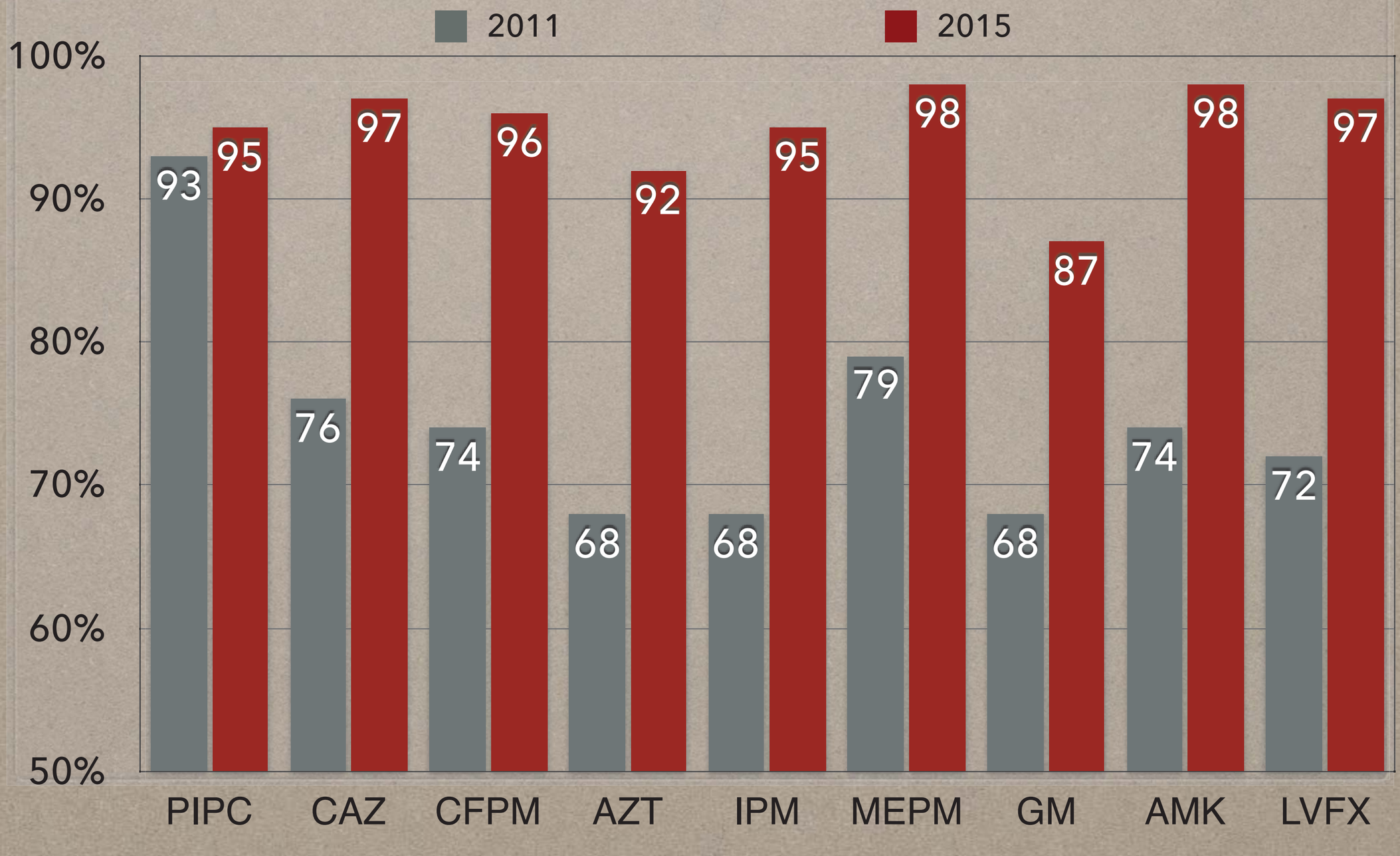
手指衛生管理システム（MedSense® ）



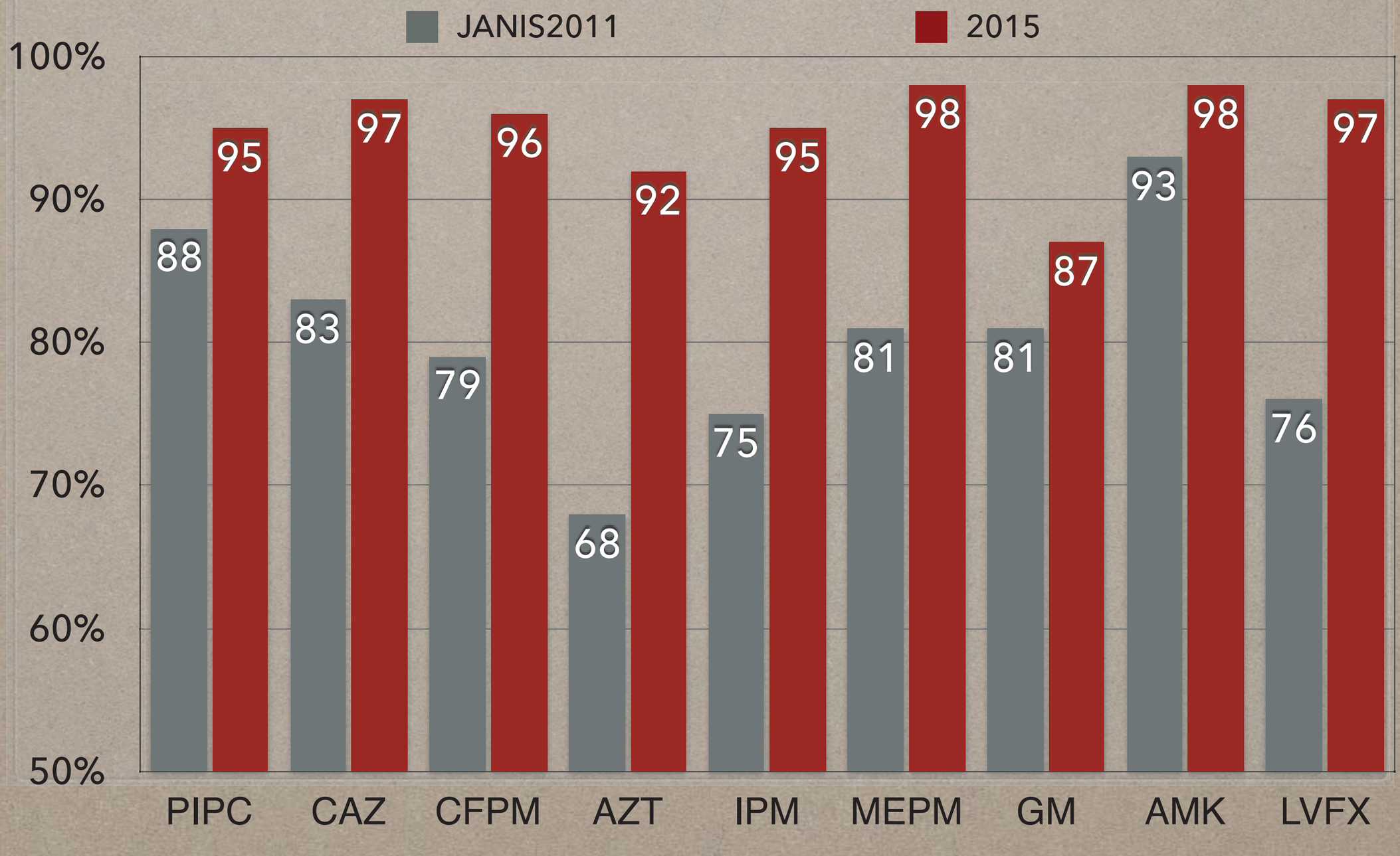
①アラート機能

②データー集積機能

緑膿菌感受性の変化 (2011→2015)



緑膿菌感受性の比較(当院と全国平均)



菌血症例の死亡率の変化

死亡率	19%	20%	13%	9.3%

当院の感染対策が改善し続けれる理由

- 特定抗菌薬届出率100%を48ヶ月連続を達成(2011年から2015年まで1954件）。

- 血液培養2セット採取率90%以上を3年連続達成、さらに改善中

	2011	2012	2013	2014	2015
2セット率	65.5%	90.3%	91.5%	92.1%	95.3%

一つの目標に向かって職員全員が一丸となれる

進化し続ける病院

【チーム医療の充実】

褥瘡対策委員会　　褥瘡発生率0.45% (全国平均1.6%)

【主要診療科を網羅】　（白血病、人工透析から膠原病、脳脊椎手術、腎移植まで）

2011年　感染制御部　新設

2013年　脊椎手術　再開

2014年　脳神経外科　新設

2016年　膠原病・リウマチ科　新設

【医師配置の充実】

113名　(2005年)　→156名　(2015年)

感染制御部は感染対策、感染症のプロフェッショナルチームです

- ★感染症学会認定医
- ★感染症学会感染症対策相談委員
- ★抗菌化学療法指導医
- ★感染制御認定臨床微生物検査技師
- ★Infection control doctor
- ★感染管理認定看護師（2名）
- ★感染管理認定看護師教育課程講師（3名）
- ★感染症学会評議員（2名）
- ★日本化学療法学会評議員（2名）

こんな時は……

「熱が下がらない」
「CRPがなかなか下がらない」

「変な耐性菌が報告されてきた」
「感感染対策は？」

専門家のいる「住友病院　地域医療連携部」にご連絡ください